



製品	COODY電動ポンプ 2
モデル名	CQ-100
バッテリー認証番号	TCT240123B063C
アダプター認証番号	JD 50569167
製造者	SHENZHEN ANGEL FLUID TECHNOLOGY CO., LTD
製造地	中国
輸入元	合同会社COODY

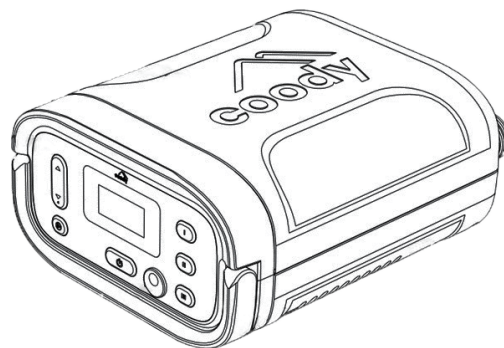
COODY JAPAN カスタマーセンター

<https://coody-jp.com/cs/>



COODY 電動エアポンプ 2

CQ-100



使用前に取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。



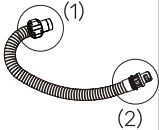
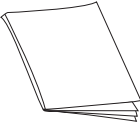
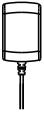
*CQ-100ポンプ低圧高流量ポンプが1つと、高圧低流量ポンプが2つ搭載されています。

電源を入れると、まず低圧高流量ポンプが動作し、一定の圧力に達すると自動的に高圧低流量ポンプに切り替わります。切り替え後は空気の注入量が減り、動作音が小さくなりますが、これは正常な動作です。

1.製品紹介

本製品は、圧力調整と圧力保持機能(設定された空気圧を一定に保つ)を備えた インテリジェントエアポンプです。エア製品内部の圧力変化をモニタリングできます。各製品の指定された圧力値に設定し、ホースを差し込んでください。内部の空気圧が低くなると、自動的にエアを補充し内部圧力を一定に保ちます。

2.アクセサリ目録

エアポンプ	ホース	取扱説明書	充電器
			

- ・電源は12V DC専用です。
- ・ホース(1)は本体に繋げ、(2)はエア製品に繋げてください。
- ・(1)、(2)は常に清潔に保ってください。
- ・地域の廃棄物処理ルールに沿って処分してください。
- ・ホースが損傷したときは本製品をそのまま使用せず、直ちに新しいホースと交換してください。
- ・高圧により怪我をする恐れがある為、空気を注入するときはホースを抜かないでください。
- ・モーターの過熱により内部損傷が発生する恐れがある為、本製品を20分以上作動させないでください。
20分以上連続作動した場合、30分間冷却する必要があります。
- ・破損した箇所がある場合は使用せず、コールセンターに修理依頼の連絡をしてください。
- ・本製品は水に濡れないようご注意ください。
- ・危険ですので、注入口には絶対に顔や体を近づけないでください。
- ・エア注入時は、その場所から離れないでください。



8.トラブルシューティング

問題	自己点検	解決方法
正常動作しない	1. 電源が正しく差し込まれてない。 2. バッテリーの充電不足。 3. 過熱や過負荷によりモーターが停止。	1. 電源コードが12V DCソケットに正しく接続されているかご確認ください。 2. 充電してください。 3. モーターを冷却して再作動してください。
動作が遅い 又は異常に 作動する	1. ホースに詰まりや亀裂があったり、異物が混入している。 2. ホースとエア注入口や本体との接続が適切でない。	1. ホースの詰まりやヒビ、異物の有無を確認し、必要に応じて交換してください。 2. ホースをもう一度正しく取り付けてください。

9. メンテナンスと保管

- ・ご使用後、本製品を移動・メンテナンス・調整する際は、必ずソケットからDCプラグを抜いてください。
- ・未使用時は、完全に冷却してから適切に保管してください。
- ・水濡れを避け、雨などにも注意してください。
- ・湿気を避け、通気性の良い場所に保管してください。

10. 保証

本製品の保証期間は1年間です。弊社純正アクセサリのご使用を推奨いたします。
他社製アクセサリの使用や本製品の改造が行われた場合、保証の対象外となります。



6. 最高圧力: 12 PSI
7. 耐久性: BLDCモーター採用、最低500時間の使用が可能です。
8. 低騒音: 低騒音・高圧ポンプを搭載しています。
9. 過熱警告: 温度が高くなると警告音が鳴ります。
10. 圧力検知: 自動圧力検知センサーを搭載、自動エア注入機能付きです。
11. エア漏れ警告: エア漏れが一定回数発生した場合に通知されます。
12. シリコンボタン: シリコン製ボタンを採用しています。
13. LED電源ボタン: 動作がない場合、3分後に電源オフします。
14. OLEDディスプレイ: 低消費電力のディスプレイを採用しています。
15. 自動OFF機能: 動作がない場合、RUN状態で25分後、STOP状態で5分後に電源オフします。

7. 製品仕様

エアマットモード最高圧力	2psi
エアテントモード最高圧力	12psi
低圧高流量時 ポンプ騒音	最大90dB以下
高圧低流量時 ポンプ騒音	最大52dB以下
バッテリー容量	5200mAh
エア圧検知間隔	20分
充電器	入力100-240 VAC.60Hz 出力:12.6VDC 2A
使用温度	-15° C~45° C
保管温度	0° C~60° C
充電時環境温度	0° C~40° C
使用環境湿度	80%以下
防水等級	IP42
バッテリー認証	TCT240123B063C
製品サイズ	W150×H85×D178mm
製品重量	1.4kg



3. 注意事項

- ・温度が高くなると、自動的に内部保護が作動します。
- ・ホースを外し、エア注入ボタンを押して1分間作動させると、熱を放出できます。
- ・5psi以上に設定する際は、エア製品が高圧に耐えられることを必ず確認してください。
(5psi以上に設定すると、エア注入に少し時間がかかる場合があります。)
- ・ボタンが反応しない場合は、電源ボタンを長押しして再作動してください。
- ・エアテント設置時、2.5psi以上に表示された時にテントを広げると、素早く設置できます。
- ・怪我のリスクを防ぐため、お子様ができるだけ本製品に近づかないようにしてください。
- ・万が一、お子様が使用または触れる場合は、必ず大人の目が届く場所で行ってください。
- ・本製品は、安全な使用方法を理解した成人のみご利用ください。
- ・移動やメンテナンス、調整の際は、必ずソケットからDCプラグを抜いてください。
- ・電源コードが汚れないよう注意し、危険物がない安全な場所に配置してください。
- ・電源コードが損傷した場合は、速やかにコールセンターへご連絡ください。
- ・濡れた手で本製品に触れないでください。(本製品を水につけないでください。)
- ・エア製品に空気を注入する前に、必ず最大エア注入圧力値をご確認ください。
最大値を超えると、エアバッグが損傷する恐れがあります。
- ・本製品を湿気の多い場所に置かないでください。故障の原因になります。
- ・本製品を火中に投げ込まないでください。バッテリーが爆発する恐れがあります。
- ・損傷を防ぐため、分解や破損は行わないでください。
- ・本製品を許可なく分解しないでください。本製品には、お客様が分解・メンテナンスできるスペアパーツは含まれておりません。
- ・本製品は直射日光の下で保管・使用しないでください。長時間日光にさらされると性能が低下し、過熱によって接続不良や充電中断の原因となります。
- ・極端に低温または高温の環境での使用・保管は避けてください。
- ・本製品は安全な環境でご使用ください。可燃性や爆発性の液体、ガス、物質を近づけないでください。
- ・充電前にアダプターの仕様が製品に適合していることを確認してください。
- ・互換性のないアダプターを使用すると、製品が損傷したり、危険な過負荷が発生する恐れがあります。
- ・未使用時は、乾燥して換気の良い場所に保管し、ショートのリスクを防ぐため、金属物と接触しないようにしてください。
- ・使用時は、過熱を防ぐため適切な放熱と換気を行ってください。
- ・本製品が膨張または漏れた場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・放熱や冷却を妨げる紙や物で製品を覆わないでください。
- ・本製品を使用しない際は、必ず電源コードを抜いてください。
- ・本製品の使用目的は、取扱説明書の記載内容に限られます。

4.製品機能説明

図1

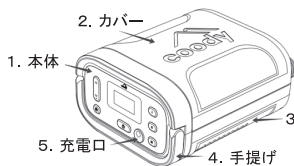


図2

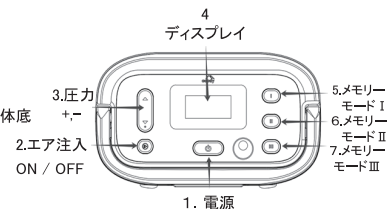


図3

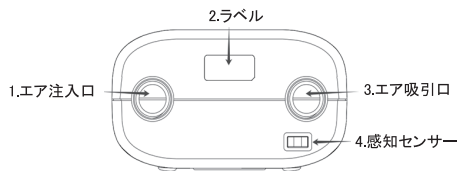
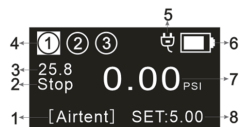


図4



ディスプレイ設定

1. エアテントモード表示
2. Run : 作動中表示 / stop 停止表示
3. 現在のポンプ内部の温度
4. 3つのメモリー機能(自由に圧力値設定)

図5



5. 充電中表示
6. バッテリー残量
7. 現在圧力値
8. 設定圧力値
9. Run : 作動中表示 / stop 停止表示
10. 手動及び自動表示

5. ご使用方法

基本的な使用方法

1. ポンプとエア製品をホースで接続し、しっかり締めてください。
エア注入時は「エア注入口」に接続してください。
エアを抜く場合は「エア吸入口」に接続してください。
2. 電源ボタン(図2参照)を長押しすると、ポンプの電源が入ります。
3. 起動後、初期ディスプレイは図4のように表示されます。(5psi、エアテントモード)
4. 電源を切る場合は、電源ボタンを2秒間長押ししてください。
5. 空気圧を調整する場合は、圧力+、-ボタン(図2参照)を押してください。
6. エア注入ON / OFFボタン(図2参照)を押すとエア注入が開始され、「Run」と表示されます。
7. 設定された空気圧に達するとエア注入が自動停止します。
その後、自動的に圧力モニタリングモードに切り替わり、「Run」と表示され続けます。
(ホースが正しく接続されている必要があります。)
8. モニタリングモードでは、リアルタイムの圧力値が表示されます。
9. エアテントモードの場合、20分ごとに自動検査が行われ、設定した圧力値より0.8PSI以上低下した場合、自動的にエア注入が行われます。

メモリーモードの使用方法

メモリーモードは、希望の設定値を保存する機能です。(最大3つまで保存可能)

1. メモリーモードⅠのボタンを押します。(図2参照)
2. ディスプレイに①のインジケータが点灯します。(図4参照)
3. 圧力+ボタンで空気圧を設定します。(図2参照)
4. 設定が完了したらメモリーモードⅠのボタンを2回押します。(図2参照)
5. 「Saved」とメッセージが出たら設定完了です。(メモリーモードⅠに保存されます。)
6. 使用時に、メモリーモードⅠのボタンを押し、次にエア注入ON / OFFのボタンを押すと、保存された空気圧でエア注入されます。
7. 「+」ボタンと「-」ボタンを同時に5秒以上押すと、単位が「PSI」から「BAR」に切り替わります。
8. メモリーボタンをⅠとⅡを同時に押すと、エアマットモードとエアテントモードが強制的に切り替わります。

6. 主な特徴

1. 空気圧維持機能: 設定された圧力が自動的に維持されます。
2. 圧力設定: 製品の説明に従い、圧力を設定できます。
3. 設定値の保存: 設定した空気圧を保存できます。
次回使用時に電源をONにすると、最後に設定した圧力で自動的にエアを注入します。
最大3つの圧力を保存可能です。
4. エアテントモード
5. バッテリー電量: 4段階で表示されます。